



定例会の議案審議、一般質問などの詳細は、上記のQRコードから映像でご覧いただけます。

5月号

ふじいでら 市議会だより

編集・発行/藤井寺市議会
☎939・1208

臨時会の日程

5月16日(金) 議会役員改選など

第2回定例会の日程

【本会議】

6月10日(火) 提案説明
6月18日(水) 一般質問
6月19日(木) 一般質問
7月3日(木) 委員長報告・採決など

【委員会】

6月24日(火) 民生文教常任委員会
6月25日(水) 総務建設常任委員会

令和7年第1回定例会のあらまし

令和7年第1回定例会は2月21日から3月27日までの35日間の会期で開催され、令和6年度補正予算、令和7年度予算、条例案件、その他案件、及び請願、並びに議会提出議案あわせて27件について、委員会・本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決して閉会しました。

国に意見書を提出

次の意見書を全会一致で採択し、関係機関に善処を求めました。

◎ 性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書

◎ 再審法改正に向けた速やかな議論を求める意見書

一般質問



大阪維新の会
代表質問
生田 達也

1 市政運営方針について

(一) 行政課題について

質問 政府の想定よりも15年早く少子化が進んでおり、総務相や首長の統治機構改革が必要だとの発言に関し、市長の見解を伺います。

答弁 他自治体との連携や協力の強化も選択肢とし、目の前の市民の生活を置き去りにしない行政運営に努めます。

質問 無計画より復興スピードを速める南海トラフ地震事前復興計画を策定する自治体が増えるなか、本市の見解を伺います。

答弁 南海トラフ地震に特化した計画の調査研究を始めます。

質問 本市独自の特殊詐欺や闇バイト防止策を伺います。

答弁 引き続き市内金融機関にて市長の声で注意喚起を行い、区長会や関係団体には出前講座を周知し活用を促します。

(二) ふるさと納税について

質問 広域連携による共通返礼品の創出は、事業者と生産者の販路拡大につながりますが、本市の見解を伺います。

答弁 寄附獲得のために、近隣自治体との連携共同による返礼品提供の検討を進めます。

質問 別の視点として、広域連携で相互に寄附を誘導し、県外流出を防ぎ、地域内循環をさせるのも有効です。本市から始めた近隣市町村との広報連携で、相互に地場産品を広報紙で掲載しあう手法はこの考えに合致します。今後の検討を伺います。

答弁 魅力発信課で、連携の輪をさらに広げて実施すべく協議を進めます。

(三) 万博後の経済成長について

要望 他自治体は、万博による経済成長の果実を住民サービスとして享受いただくため、特産品の海外展開や、観光の波及効果も視野に入れ、各国と交渉に入るなど、既に万博後の取り組みの議論にシフトしています。本市も成長につながる外国との交流事業に挑戦してください。ノーベル医学生理学賞を受賞した山中教授は、8歳のときに以前の大阪万博を見学して医学の道に進まれました。「世界中からやってくる未来の学者たちを魅了してやまない、驚きの実験室になる。48年前の私にとってまさしくそうだった」と述べられました。本市の子どもたちへの校外学習や支援事業が、子

どもたちにとって、どんな道であれ、この万博が夢につながっていくことを期待しています。



大阪維新の会
個人質問
松木 洋介

1 学力と非認知能力の向上について

要望 私は以前より本市の学力課題に取り組み、改善・改革を訴えてまいりました。私の要望の専科指導教員の配置をはじめ、ひとり親家庭学習支援の拡充や現場の取り組みが徐々にかたちとして表れていると感じております。しかし、依然として、全国と対比すると課題は継続しております。今後、本市の子どもたちの成長に対する取り組みは根拠に基づいて実施してください。また、非認知能力は就学前からも重要と言われ、認知能力と非認知能力は相関関係も示されています。保護者をはじめ、各関係機関で連携をはかり認知と非認知の理解を深め、本市の課題解決に尽力してください。

2 大阪・関西万博について

要望 万博は他国の文化・技術にふれあうことができ、次世代が夢や希望をもって、日々頑張

ることは必ず社会にかえってきます。安心安全の確保のもと、保護者に負担を求めることなく、子どもたちの校外学習の準備を入念に進めてください。ニューヨークタイムズが発表した「2025年に行くべき52カ所」に大阪が選出され、大阪・

関西万博は世界が注目しております。大阪・関西万博に尽力されている皆様の努力は必ず、人々へ感動を与え、子どもたちに夢と希望を導くものになると確信しております。本市の職員と各関係者の皆様へ感謝の意をお伝えしますとともに最後まで万博の大盛況と藤井寺市の魅力発信に尽力していただくことを要望します。

3 人事評価制度について

要望 職員への評価は絶対評価。反映は相対化処理の導入。また公平性や組織力向上の観点からの部下の視点も考慮できる仕組みも必要性を感じていることから、人事評価制度に、私の1期目からの訴えを全て取り入れていただいております。私はこの間、他市の事例確認や、自ら先行事例を他市へ視察に伺い、その結果として本市の現状を考慮すると給与反映には相対化処理が望ましいという考



大阪維新の会
個人質問
河井 計実

1 大規模地震に備えた本市の体制について

質問 災害の発生時にはどのように出動されるのかを伺います。

答弁 本市では、大阪府域で震度4以上の地震や南海トラフ地震臨時情報発表時には、危機管理室の職員11人が情報収集体制を設置し、風水害時には気象警報発表や河川の氾濫注意水位到達の恐れがある場合に出動します。配備体制は震度4「災害対策初動本部警戒配備体制」(最大208人)、震度5弱「災害対策初動本部初動配備体制」(最大262人)、震度5強「災害対策本部災害対策配備体制」(最大281人)、震度6弱以上「災害対策本部全職員配備体制」となります。

質問 職員参集時の連絡手段はどのようになっておりますか。
答弁 通信途絶を想定し、「職員

参集マニユアル」に基づき各配備場所に自動参集し市民対応、現場対応、避難所開設などに従事します。

要望 市の防災体制の整備をみると「公助」は確立されているため、今後は「自助」「共助」の強化が必要。市民や学校での防災教育の充実を強く要望します。

2 財政運営について

質問 現在の本市の財政状況の認識を伺います。

答弁 令和5年度決算では経常収支比率が100・2%に達し、大阪府内でも財政の硬直化が顕著。財政調整基金の枯渇が懸念され、本市は「行財政改革推進プラン2024」に基づき、決算時の財政調整基金の取り崩しを回避する財政運営を進め、令和7年度は「緊縮型」予算を編成し、事業の見直しと経費削減を実施。自主財源確保のため、ふるさと納税等の増加の取り組み、八尾富田林縁治道まちづくりによる税収増を期待し、柔軟で弾力的な財政構造の構築を図り、良質な市民サービスの提供と機動的な行財政運営に努めます。

要望 令和6年12月議会で人事院勧告に基づく給与改定の適及適用をしなかったのは財政状況

が危機的状況になってきているというメッセージと受け止めました。職員の意欲低下は市民の損失に直結するために、徹底した行財政改革にて、独自の給与カットの廃止を行ってください。



政新クラブ
代表質問
國下 尊央



1 市政運営方針について
(1) 効果的なプロモーションについて

質問 世界中から大阪に注目が集まる好機をとらえ、効果的に施策を展開する必要があると考えますが、どのような方針で臨むのかを、お聞かせください。

答弁 万博会場でのPRをはじめ、観光協会やまちづくり団体などの地域の皆様、観光局や民間事業者、近隣市町村ともしっかりと連携を図りながら、より効果的なプロモーションを展開してまいります。

質問 事業者支援補助金に関して新たに伴走支援に取り組みと示されているが、その内容について、お聞かせください。

答弁 伴走支援は、より効果的な補助金制度を引き続き事業者

支援に資するため、より効果的な補助金の活用を念頭に、申請から事業の完了まで中小企業診断士にコンサルティングを一貫して受けることができるようにするものであります。

要望 将来を見据えた持続可能な自治体運営や地域経済の好循環に寄与する施策として、本市の魅力向上や効果的なプロモーションをけん引できるような取り組みを要望いたします。

(2) 小学校水泳指導の民間委託について

質問 この取り組みを行う事の原因についてお聞かせください。

答弁 1点目は大規模な改修費用です。2点目は教育面です。効果的かつ効率的な指導が受けられること、屋内プールなので天候に左右されないこと、室温、水温、水質が安定した環境に保たれること等、子どもたちにとって教育面での効果が高いことが多くあります。また、これらの事で教職員の負担軽減も可能になります。

要望 教員の負担軽減にもなり、専門家からの指導と言う事で教育の質の向上にもつながりますが、今後、学校の教育目標に沿った指導が行われるように指導内容の確認、民間業者との

連携を密にし、安全管理体制を構築する必要やインスタフターに問題が起きたときなどの対応などが必要と思われます。他にもあると思いますが、より良い小学校水泳指導の実施を目指して行く事を要望します。

(3) コミュニティ・スクールの取り組みについて

質問 モデル導入した道明寺南小学校区の、取り組みと成果と課題についてお聞かせください。

答弁 学校運営協議会の成果として、保護者・地域・学校等それぞれの立場から子どもたちのためにをともに、その手立てとして具体的な取り組みにつなげる事が出来たこと、顔がわかる関係性が強くなりつつあること、教員以外の大人との関わりが増えてきました。課題として学校運営協議会やコミュニティ・スクールの取り組みが認知されておらず、保護者や地域の方に更に周知していく必要があること、もう一つは学校と地域が円滑に協働していくために相互をつないでいく人材確保です。

要望 新導入地域が選定されましたら道明寺南小学校というモデル校が市内にありますので、新たな学校区へのコミュニティ・スクール導入を円滑に進めることができるよう要望します。

す。

(4) 地域福祉計画の推進について

質問 第4期藤井寺市地域計画についてお聞きします。令和7年度が最終年度ですが、計画の内容や計画期間などお聞かせください。

答弁 令和3年から5年間の期間となっております。

要望 「民生委員児童委員のあり方検討」を進めたことや、障害者基幹相談センターを設置した事については評価いたします。また第5期計画の策定も行うとの事なので担当課の負担は増加すると思いますが、市民の方々の「誰もが健やかに暮らし、ともに支えあう」まちとなるように地域福祉を推進してもらえよう要望します。

(5) 防災強化について

要望 消防団の防災力強化は地域社会の安全を守る上で非常に重要な課題です。数キロメートルもの距離の消火活動を行う「遠距離送水中継訓練」の実施等これらの取り組みを総合的に推進することで消防団の防災力は強化され地域の方々の安心安全に大きく貢献することが期待できます。今後も更なる防災力の強化に努めていただくよう要望します。

(6) 地球温暖化対策実行計画の策定について

要望 ゼロカーボンシティの実現のためには、行政自らが、先頭に立って計画を立てて進めていく事は勿論の事、市民や事業者の方々の協力なくしてゼロカーボンはなしえないことから、しっかりと啓発していただき、ますようお願い申し上げます。

(ア) 立地適正化計画について

質問 令和6年予算特別委員会において、立地適正化計画の策定について趣旨などをお聞きしました。現在の策定作業の状況をお聞かせください。

答弁 本市の現況を客観的データとして整理し、まちづくりの課題を取りまとめているところであり、令和7年内に計画を策定する予定です。

要望 わが会派から以前質問した市民病院跡地の利活用においても、この計画は非常に重要な位置付けと考えています。今後、策定されるこの事ですが、病院の跡地利用も含め、公共施設の再編などの後押しとなるよう、また人口減少社会も見据えつつ、持続可能な都市経営を実現し、市民にとって住みよいまちづくりを進めて行くために効果的な計画としていただくよう要望します。

國下尊央の議会質問の録画映像はこちら



日本共産党
代表質問
木下 諱

1 市政運営方針について

(1) 公立保育施設削減ありきの再編実行計画について

質問 市長は市政運営方針で、保育施設は子どもたちの成長と発達を支援する重要な施設だと述べながら、9つの公立保育施設を3園以内に減らす施設削減計画案を示し、令和7年3月までに策定しようとしています。3園以内とした根拠は何ですか。

答弁 今後の保育ニーズが減少傾向にあること、市内の市立幼稚園保育所のあり方検討部会の議論において財政状況に関する意見が出されたことなどが3園以内と方針を出した理由です。

質問 市長が諮問した、専門的な審議を行っていたいたいた幼稚園保育所運営検討部会の議論の中でも市内を4つの地域に分割した地域性を考慮した再編が望ましいと示されているにも

かわらず、市全体の今後の保育ニーズの見込みや財政状況だけで再編方針を決めている。全く地域性について議論がされていない。再編に伴い地域から公立保育施設が無くなる事は、子育て世帯にとって大きな影響だと考える。しかし、市民説明会は2回しか開催されておらず多くの保護者がこの事実を知らない。全園で保護者説明会を開くべきではないですか。

答弁 現時点で具体的にどの施設をいつ再編するということは決定していない。具体的にお示しできる段階になればお伝えする機会を設けたいと考えている。

要望 保護者へ具体的に説明できない様な計画案を出すこと自体が間違っている。このまま計画案を策定する事はあまりにも強行的だと考える。地域性を考慮し保護者や子どもたちに与える影響について十分に議論した計画へ内容を見直すべきです。

(2) 子どもたちの万博校外学習について

要望 大阪府が実施する学校単位での万博来場を取りやめる学校や自治体が相次ぎ、すでに吹田、交野、熊取、島本の府内4市町も学校単位での参加見送りを表明しており、多くの学校が熱中症などの安全面のリスクを

挙げている。多くの課題が山積している万博校外学習は取りやめ、少なくとも教育委員会から教員が下見に行き、子どもの安全が確保できないと判断すれば中止を決定しても構わないという通知を各学校に出すべきです。

(3) 子育て世帯の負担軽減を求め

質問 小学校、中学校で必要になる諸経費についてどれぐらいの差があるのでしょうか。

答弁 必要経費負担が大きい学年で見ると、小学校6年生で年間約8万7千円、中学校1年生で年間約21万5千円が必要となり、差は約12万8千円です。

要望 令和7年度、近隣市では東大阪、八尾、松原、大阪狭山、太子町、河南町、千早赤阪村で小中学校の学校給食無償化を予定しています。令和7年度の子育て世帯への物価高騰支援として本市が予定している学校給食費の値上げ分の助成では全く不十分です。まずは諸経費の負担が大きい中学校給食の無償化を実施するよう強く求めます。

(4) 職員給与の独自カット解消に向けて

質問 本市職員の給与は府内で唯一独自カットを平成26年度から時限措置を設けず継続して実施しており、府内市町村平均に

遠く及ばない状況です。令和7年2月末時点で普通・早期退職者25人になっているのは、処遇の低さによるモチベーションの低下も要因です。令和8年3月31日までと期限を切って早急に独自カットを解消すべきと考えますが市長いかがですか。

答弁 現時点で考えていない。



日本共産党
個人質問
長尾 匡浩

1 暮らしに便利な公共交通の実現のために

質問 地域交通会議で令和7年10月の実証運行に向けデマンド型タクシー、有償での運行を検討しています。市民アンケートで路線バス同様の運行を求む意見があります。広い道は多目的利用できるコミュニティバス、狭い道はデマンド型交通の併用運行、民間バスとの乗り継ぎ助成や運賃割引の検討をするのか。

答弁 既存交通のすみ分けや利用者の分散回避、経済性などからデマンド型交通になりました。運賃割引は会議で検討します。

要望 コミュニティバスとデマンド型タクシーを併用して利用がしやすい公共交通にすることで、併せて乗り継ぎで利用者負担が

発生しないことを強く求めます。

質問 パブリックコメントの実施や実証運行時の課題の改善は行うのかお聞かせください。

答弁 広報紙やホームページで周知を行い、パブリックコメントで寄せられた意見を踏まえ会議で検討し、実証運行時も課題の改善を行ってまいります。

要望 公共施設循環バスが切り替わる前に市民に影響がないよう説明や意見を聞くことを強く求めます。

2 子ども医療費の窓口負担無償化を求める

質問 経済的支援の充実が求められる中、子ども医療費窓口負担の無償化を実施してはどうか。

答弁 子ども医療費助成は経済的負担の軽減が図られると認識していますが、財源の確保が課題であり、無償化の実施は困難であると考えております。

要望 どの家庭の子どもも安心して医療に掛かれるよう、小学校就学前までの子ども医療費窓口負担の無償化を強く求めます。



改革ふじいでら
代表質問
山本 忠司

1 市政運営方針について

質問 立地適正化計画は、本市における今後のまちづくりにおいて、どのような計画となるのか伺います。

答弁 立地適正化計画を策定しコンパクトシティへ誘導することで、人口減少や少子高齢化、拡散した市街地等の課題に対し生活利便性の向上、地域経済の活性化、行政コストの削減、居住地の安全性強化などを図ってまいります。

要望 市民の生活環境や市の魅力の向上につながる計画として策定するだけではなく、しっかりと実行し、持続可能な都市経営を実現していただくことを強く要望いたします。

2 健康増進に向けたスポーツの普及振興について

質問 古市古墳群つながりの羽曳野市と連携し、バージョンアップした形でのマラソン大会の実施について伺います。

答弁 両市とも石川河川敷のサイクルロードを活用してマラソン大会を開催している観点から実施の可能性について継続的に検討を行っております。

質問 今後の市民マラソンについて、市長の見解を伺います。

答弁 石川河川敷のスペースを活用した様々なコースの設置など、両市連携による事業実施の可能性について、課題を解決していく幅広い分野での運営内容を検討してまいります。

要望 羽曳野市とともに、世界遺産の古市古墳群の更なる魅力をPRできるマラソン大会の実現を目指して取り組んでいただくことを要望いたします。

(2) フライングディスク普及事業について

質問 フライングディスク普及事業の中でも、特にアルティメット競技の普及について、今後の方向性を伺います。

答弁 小学生の内からフライングディスクに慣れ親しんでもらい、アルティメット競技経験者の増加を目指したいと考えます。

要望 今後は、関西地方ではあまり前例がない、小中学生を主体としたアルティメットクラブの創設など、あらゆる可能性を視野に入れた企画の立案を要望いたします。

(3) 運動・スポーツ習慣化促進

事業について

質問 生活習慣病に起因する疾患の重症化予防を目的としたこの事業を、今後はどのように改善し、実施する予定なのか伺います。

答弁 適切な運動習慣を身に付けていただき生活習慣病やフレイル予防へつなげ、今後もデジタル技術の活用を含めた効果的な手法を考えてまいります。

要望 今後も、このような事業を継続していただき、健康寿命の延伸や介護予防にもつなげていただくことを要望いたします。

(4) eスポーツの取り組みについて

質問 eスポーツには様々な可能性があり、他の自治体においても多くの取り組み事例があります。そこで、市長の見解を伺います。

答弁 eスポーツについては、認知症対策や地域コミュニティの活性化での活用をはじめ多くの事例が見られ、市民生活の身近な部分から活用の検討を進めてまいりたいと考えます。

要望 eスポーツは行政課題である、認知症対策や運動機能回復、また多世代交流など様々な分野に活用が広がっておりますので、是非とも検討をして

いただくことを要望いたします。

山本忠司の議会質問の録画映像はこちら



改革ふじいでら
個人質問
横山 太喜

1 市政運営方針について

質問 税収増のため本市への寄附金額10億円を目指して様々な提言を行ってまいりましたが、現在の実績を伺います。

答弁 令和6年度の寄附金額は令和7年1月末時点で約2億4000万円です。

要望 本市への寄附金額と市民が他市に寄附した税額控除等の差し引きは令和4年度で約1200万円の赤字、令和5年度で約4400万円の赤字、令和6年度は未確定ですが約6500万円の赤字と思われる。今後は担当課の人員増員及び中間事業者の見直しを通じて寄附金額10億円を目指していただきたい。

(2) 下水道管の老朽化対策について

質問 令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没を踏まえて本市の対応を伺います。

答弁 国土交通省から依頼のあった緊急点検箇所該当する下水道管はございませんでした。

質問 下水道管の腐食について本市の状況を伺います。

答弁 腐食の恐れのある箇所は定期的に点検を行っております。

要望 下水道の維持管理に必要な施策を推進してください。

2 家庭ごみの分別について

(1) 廃プラスチックについて

質問 本市の状況を伺います。

答弁 容器包装プラスチックや製品プラスチックは近隣市などと共に再資源化に向けた協議を行っております。

質問 プラスチックの分別を行う場合、ごみの排出方法に変更があるのか伺います。

答弁 リサイクルできる状態のごみを排出していただくことと、収集の日を新たに検討する必要がございます。

(2) ごみの減量化について

質問 ごみの減量化についての取り組みを伺います。

答弁 本市の排出量は府下でも上位であり、不要品をごみではなく資源としてリサイクルできる方法を提供するなど、様々な取り組みを行っております。

要望 ごみの減量化に取り組むと共に市民の皆様からも要望が

多いごみの戸別収集の導入について検討を進めてください。

3 犬と猫のマイクロチップ情報登録について

質問 制度の概要を伺います。

答弁 犬猫等販売業者に対し、犬や猫へのマイクロチップの装着と「犬と猫のマイクロチップ情報登録サイト」への情報登録が義務化されました。

質問 犬や猫が迷子や地震等の災害、事故等で離ればなれになっても、飼い主のもとへ戻る確率は高まるのか伺います。

答弁 行政などでマイクロチップの識別番号から飼い主の情報を確認できるため、飼い主の元へ戻る確率は高まります。

要望 飼い主が探されていた犬や猫が道路や公園などで亡くなっている可能性があるため、そういった情報が飼い主へ届く仕組みなども検討してください。

4 職員のモチベーション向上について

(1) 人事評価制度について

質問 新たな制度が積極的に業務に取り組み職員を評価する仕組みになるのか伺います。

答弁 検討してまいります。
要望 市政推進には積極的な職

員が欠かせません。現状の制度では積極的に業務に取り組む職員を評価できていないため制度の見直しを要望いたします。

横山太喜の議会質問
の録画映像はこちら



公明党
代表質問
伊藤 政一

1 市政運営方針について

(1) 史跡古市古墳群整備基本計画について

質問 市政運営方針の中で総合計画の「1地域の人や資源を活かし、にぎわいと活力を創出する」中の、史跡古市古墳群整備基本計画の内容とパブリックコメントの結果をお聞かせください。

答弁 史跡古市古墳群の各古墳の保存活用の整備基本方針をまとめています。パブリックコメントに意見はありませんでした。

要望 史跡古市古墳群整備基本計画に準じた作業を要望します。
(2) 子どもたちが輝く社会について

要望 学校生活や学習において日常的にICTを更に活用できる学習環境を整備すると共に、文化芸術鑑賞や伝承遊びなど多様な体験などを通して子どもたちを育成することを要望します。

(3) 高齢者にやさしいまちづくりについて

質問 市政運営方針の中、第9期いきいき長寿プランに本市の高齢者の一人暮らし世帯や高齢者夫婦のみの世帯数が記載されていましたが、平成12年から増加し続けています。安否確認をできる事業が重要ですが、その事業に登録できる要件をお聞かせください。

答弁 現在、実施している事業は、在宅高齢者給食サービスとみまもりホットラインです。在宅給食サービスは、おおむね65歳以上で一人暮らし・高齢者のみ世帯・同居人が就労のため一時的に高齢者のみとなる世帯

で、調理が困難な方、みまもりホットラインは、おおむね65歳以上の方で一人暮らしの方、同居人が寝たきりに準ずると認められた高齢者のみの世帯、一時的に高齢者のみになる世帯の方としていきます。

要望 これから増加すると見込まれているのが、一人暮らしの

シニア世代です。シニア世代の人がいつまでも安心して暮らしをいけるよう、医療・介護や福祉サービスの支援強化に加えて高齢者も活躍しやすい環境整備を進め、共生社会の実現を目指すことを要望します。

(4) 空家対策について

質問 空家対策の制度には、特定空家等と新たに管理不全空家等が規定されていますが、この2つの規定の違いについてお聞かせください。

答弁 管理不全空家等とは空家等対策の推進に関する特別措置法におきまして、そのまま放置すれば特定空家等に該当することとなる恐れのある状態の空家と規定されており、状態の悪さの度合いが異なるものです。

質問 管理不全空家等としての指導と特定空家等としての指導の違いについてお聞かせください。

答弁 管理不全空家等としての指導は、一般的な空家等に対して行う助言、指導に加え措置について勧告することができ、勧告した場合は、固定資産税の住宅用地特例が解除されます。特定空家等は、助言・指導、勧告に加え命令、そして最終的には行政代執行による措置が可能です。なお管理不全空家等として

是正を勧告された場合で、状態の悪化等の理由により、その後、特定空家等に認定されたとしても十分な改善措置がなされない限り勧告は撤回されません。

要望 管理されていない空家は状態が悪くなりやすく、動物の住み付きや虫の発生、雑草の繁茂や倒壊等による被害のほか、災害時には救助活動の支障になる可能性もあります。空家対策は解決が大変難しい状況ですが、利活用の推進と粘り強い指導の継続に取り組んでいただくことを要望します。



公明党
個人質問
水谷 雄路

1 大地震に備える防災意識について

(1)本市における防災意識向上に向けた取り組みについて

質問 防災意識向上に向けた取り組みについてお聞かせください。

答弁 令和4年に全戸配布しました「藤井寺市防災ガイドブック」や「広報ふじいでら」での防災と特集記事の掲載、市LINE公式アカウントなどの各種SNSを活用した防災情報の発信等、様々な手法により周

知につとめているところです。

質問 高齢者や身体が不自由な方への防災意識向上に向けての取り組みをお聞かせください。

答弁 支援などを希望される方へ登録を行い、災害時における支援対策で「藤井寺市避難行動要支援者支援制度」を運用しています。

(2)地震ブレイカー普及について

質問 地震ブレイカー導入の周知が効果的と考えますが、本市の考えをお聞かせください。

答弁 地震ブレイカーは、地震の揺れを感じると自動的にブレイカーを落とし電気を遮断する為、外出時には、地震ブレイカーの設置は有効と考えます。

要望 地震ブレイカーの有効性、そして正しい知識の周知、また本市が積極的にあらゆる災害に対する防災意識の啓発を行っていただき、市民のみならず自分にのち自分を守る自助の備えを促していただくことを要望します。

2 GIGAスクール端末について

(1)GIGAスクール端末の更新について

質問 本市における既存GIGA端末の処分予定台数と新

GIGA端末の購入予定台数についてお聞かせください。

なごりかねません。現在、小中学校における情報漏洩の危険性というものは、ITインフラ脆弱性だけではなく、今後更新が集中するGIGAスクール端末の大量処分に向けての対応が大事になります。今が大変に重要な時期だと考えますので、関係部局と教育委員会、認定事業者等が連携を取りながら、しっかりと対応していただくことを要望します。

答弁 現時点での予定ですが、廃棄処分を行うタブレット端末の数は4500台程度、新しいタブレット端末への更新につきましては、大阪府にて共同調達を行うことになっており、令和7年12月からの使用に向け、予備機も含めて約5100台を購入入予定です。

(2)GIGAスクール端末の処分方法について

質問 既存の端末を処分する際の適切な端末処分の認識があるのか、お聞かせください。

答弁 端末の処分をする際には、文科省から端末の適正な処分等について示されておりま

す。廃棄可能な委託先につきましては、小型家電リサイクル法に基づく認定事業者と資源有効利用促進法に基づく製造事業者等があること、更にデータ消去が適切に実施されなかった場合は、個人情報漏洩等の責任を問われる可能性があることなどについて認識しております。

要望 GIGA端末の記憶媒体は、単純な物理破壊ではデータの復元が可能とされており、専用ソフトでの処理により、確実にデータを消去しなければ、子どもたちの個人情報の流出につ

ながりかねません。現在、小中学校における情報漏洩の危険性というものは、ITインフラ脆弱性だけではなく、今後更新が集中するGIGAスクール端末の大量処分に向けての対応が大事になります。今が大変に重要な時期だと考えますので、関係部局と教育委員会、認定事業者等が連携を取りながら、しっかりと対応していただくことを要望します。



会派に属さない議員
個人質問
花崎 由貴子

1 市政運営方針について

(1)防災力強化について

質問 防災力強化には、女性の視点を取り入れた対策と自助の意識を高めることが大事だと考えますが、市の取り組みをお聞かせください。

答弁 防災会議には、女性委員を選定すること、災害現場での男女共同参画への理解を深める市民啓発をしていること、小中学校においては、防災を含む安全に関する教育など、取り組んでいます。

要望 防災対策をさらに強化す

るには、防災会議に女性委員を増員し女性の視点を取り入れることや女性防災リーダーの育成にも取り組んでください。

2 幼稚園・保育所の今後について

質問 市の南東地域では、保育施設が不足したままです。どのような対策をお考えですか。

答弁 現時点では、具体的には決定していません。

要望 老朽化の著しい第4保育所を使用することは子育てしやすいまちだと判断されません。市民病院の跡地を保育施設の整備用地として早急に結論を出して欲しいと強く求めます。

3 児童生徒の学力向上について

質問 自己肯定感に関する児童生徒の肯定的な回答の割合が改善しています。非認知能力を育成する取り組みの成果だと考えますが、どう捉えていますか。

答弁 令和5年度から継続して実施している研修等の成果が出てきていると考えております。

要望 非認知能力を育成することとで学力向上につながります。児童生徒に丁寧に向き合えるよう、教育現場にゆとりが持てる人的配慮を求めます。

令和7年第1回定例会議決結果一覧

議案番号・議案名		ふじいでら 改 革			公明党			維新の会 大 阪		政新クラブ		日本共産党		無党派	結 果
		山本 忠司	畑謙 太郎	横山 太喜	片山 敬子	伊藤 政一	水谷 雄路	生田 達也	松木 洋介	河井 計実	國下 尊央	岡本 光	木下 誇	長尾 匡浩	
議案第1号	藤井寺市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	執行機関の附属機関に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	藤井寺市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	職員の退職手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	職員の旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	藤井寺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	藤井寺市下水道条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	市道路線の認定、廃止及び変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	藤井寺市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
議案第12号	藤井寺市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
議案第13号	令和6年度藤井寺市一般会計補正予算(第9号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	令和6年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	令和6年度藤井寺市公共下水道事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	令和7年度藤井寺市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
議案第17号	令和7年度藤井寺市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
議案第18号	令和7年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
議案第19号	令和7年度藤井寺市介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	原案可決
議案第20号	令和7年度藤井寺市公共下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	藤井寺市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号	藤井寺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び藤井寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	調停の成立について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	令和7年度藤井寺市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第1号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	不採択
議会議案第1号	藤井寺市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

議長のため表決せず

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対